

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2020.11.30-12.6

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

6:15 そのとき、あの者たちは申し合わせて王のもとに来て言った。「王よ。王が制定したどんな禁令も法令も、決して変更されることはない、ということが、メディヤやペルシヤの法律であることをご承知ください。」

6:16 そこで、王が命令を出すと、ダニエルは連れ出され、獅子の穴に投げ込まれた。王はダニエルに話しかけて言った。「あなたがいつも仕えている神が、あなたをお救いになるように。」

6:17 一つの石が運ばれて来て、その穴の口に置かれた。王は王自身の印と貴人たちの印でそれを封印し、ダニエルについての処置が変えられないようにした。

6:18 こうして王は宮殿に帰り、一晚中断食をして、食事を持って来させなかった。また、眠けも催さなかった。

6:19 王は夜明けに日が輝き出すとすぐ、獅子の穴へ急いで行った。

6:20 その穴に近づくと、王は悲痛な声でダニエルに呼びかけ、ダニエルに言った。「生ける神のしもべダニエル。あなたがいつも仕えている神は、あなたを獅子から救うことができたか。」

6:21 すると、ダニエルは王に答えた。「王さま。永遠に生きられますように。」

6:22 私の神は御使いを送り、獅子の口をふさいでくださったので、獅子は私に何の害も加えませんでした。それは私に罪のないことが神の前に認められたからです。王よ。私はあなたにも、何も悪いことをしていません。」

6:23 そこで王は非常に喜び、ダニエルをその穴から出せと命じた。ダニエルは穴から出

されたが、彼に何の傷も認められなかった。彼が神に信頼していたからである。

6:24 王が命じたので、ダニエルを訴えた者たちは、その妻子とともに捕えられ、獅子の穴に投げ込まれた。彼らが穴の底に落ちないうちに、獅子は彼らをわがものにして、その骨をことごとくかみ砕いてしまった。

6:25 そのとき、ダリヨス王は、全土に住むすべての諸民、諸国、諸国語の者たちに次のように書き送った。「あなたがたに平安が豊かにあるように。」

6:26 私は命令する。私の支配する国においてはどこでも、ダニエルの神の前に震え、おののけ。この方こそ生ける神。永遠に堅く立つ方。その国は滅びることなく、その主権はいつまでも続く。

6:27 この方は人を救って解放し、天においても、地においてもしるしと奇蹟を行ない、獅子の力からダニエルを救い出された。」

6:28 このダニエルは、ダリヨスの治世とペルシヤ人クロスの治世に栄えた。

法令が發布された時点で、また祈りを目撃された時点で、さらには穴に投げ込まれた時点で、ダニエルは“神は守ってくれなかった”と不信仰に陥ることもできましたが、彼は最後まで神を疑うことがありませんでした。神は最後まで信じる者を助け、また徹底的な勝利を与えてくださったのです。

ダリヨス王はここで信仰を持ったように見えますが、それはあくまでも政治上の都合です。自分の神としてではなく、「ダニエルの神」です。世の権力者は気まぐれでもありますから、権力者にこびるのではなく、ダニエルのように、あくまでも神の頼る必要があるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、

愛の満たしなど)

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



1日 火曜

ダニエル



7:1 バビロンの王ベルシャツアルの元年に、ダニエルは寢床で、一つの夢、頭に浮かんだ幻を見て、その夢を書きしるし、そのあらましを語った。

7:2 ダニエルは言った。「私が夜、幻を見ていると、突然、天の四方の風が大海をかき立て、

7:3 四頭の大きな獣が海から上がって来た。その四頭はそれぞれ異なっていた。

7:4 第一のものは獅子のようで、鷲の翼をつけていた。見ていると、その翼は抜き取られ、地から起こされ、人間のようになり二本の足で立たされて、人間の心が与えられた。

7:5 また突然、熊に似たほかの第二の獣が現われた。その獣は横ざまに寝ていて、その口のきばの間には三本の肋骨があった。するとそれに、『起き上がって、多くの肉を食らえ。』との声がかかった。

7:6 この後、見ていると、また突然、ひょうのようなほかの獣が現われた。その背には四つの鳥の翼があり、その獣には四つの頭があった。そしてそれに主権が与えられた。

7:7 その後また、私が夜の幻を見ていると、突然、第四の獣が現われた。それは恐ろしく、ものすごく、非常に強くて、大きな鉄のきばを持っており、食らって、かみ砕いて、その残りを足で踏みつけた。これは前に現われたすべての獣と異なり、十本の角を持っていた。

7:8 私がその角を注意して見ていると、その間から、もう一本の小さな角が出て来たが、その角のために、初めの角のうち三本が引き抜かれた。よく見ると、この角には人間の目のような目があり、大きなことを語る口が

あった。

7:9 私が見ていると、幾つかの御座が備えられ、年を経た方が座に着かれた。その衣は雪のように白く、頭の毛は混じりけのない羊の毛のようであった。御座は火の炎、その車輪は燃える火で、

7:10 火の流れがこの方の前から流れ出ていた。幾千のものがこの方に仕え、幾万のものがその前に立っていた。さばく方が座に着き、幾つかの文書が開かれた。

7:11 私は、あの角が語る大きなことばの音がするので、見ていると、そのとき、その獣は殺され、からだはそこなわれて、燃える火に投げ込まれるのを見た。

7:12 残りの獣は、主権を奪われたが、いの中はその時と季節まで延ばされた。

7:13 私がまた、夜の幻を見ていると、見よ、人の子のような方が天の雲に乗って来られ、年を経た方のもとに進み、その前に導かれた。

7:14 この方に、主権と光栄と国が与えられ、諸民、諸国、諸国語の者たちがことごとく、彼に仕えることになった。その主権は永遠の主権で、過ぎ去ることがなく、その国は滅びることがない。

四頭の獣の幻がダニエルに与えられました。第一のものは、「獅子」のように獲物を食らい、「鷲」が飛ぶように迅速であること、また後期には「人の心が与えられ」たことを考えると、バビロニアでありその王ネブカデネザルであると考えられます。同様に考えると、第二の獣はペルシャ、第三の獣はギリシャ、第四の獣はローマであることが分かります。

これらの帝国は人間の力としては絶大ですが、神に敵対し、「さばく方」によってさばかれるこ

とになります。

その後は13節からのように、「さばく方」の王国が立ち上がります。「その主権は永遠」です。この世には大きな権力が立ち上がりますが、神の権力こそが絶大であることを覚え、ダニエルのように神に従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



2日 水曜

ダニエル



7:15 私、ダニエルの心は、私のうちで悩み、頭に浮かんだ幻は、私を脅かした。

7:16 私は、かたわらに立つ者のひとりに近づき、このことのすべてについて、彼に願って確かめようとした。すると彼は、私に答え、そのことの解き明かしを知らせてくれた。

7:17 『これら四頭の大きな獣は、地から起こる四人の王である。』

7:18 しかし、いと高き方の聖徒たちが、国を受け継ぎ、永遠に、その国を保って世々限りなく続く。』

7:19 それから私は、第四の獣について確かめたいと思った。それは、ほかのすべての獣と異なっていて、非常に恐ろしく、きばは鉄、爪は青銅であって、食らって、かみ砕いて、その残りを足で踏みつけた。

7:20 その頭には十本の角があり、もう一本の角が出て来て、そのために三本の角が倒れた。その角には目があり、大きなことを語る口があった。その角はほかの角よりも大きく見えた。

7:21 私が見ていると、その角は、聖徒たちに戦いをいどんで、彼らに打ち勝った。

7:22 しかし、それは年を経た方が来られるまでのことであって、いと高き方の聖徒たちのために、さばきが行なわれ、聖徒たちが国を受け継ぐ時が来た。

7:23 彼はこう言った。『第四の獣は地に起こる第四の国。これは、ほかのすべての国と異なり、全土を食い尽くし、これを踏みつけ、かみ砕く。』

7:24 十本の角は、この国から立つ十人の王。彼らのあとに、もうひとりの王が立つ。彼は

先の者たちと異なり、三人の王を打ち倒す。

7:25 彼は、いと高き方に逆らうことばを吐き、いと高き方の聖徒たちを滅ぼし尽くそうとする。彼は時と法則を変えようとし、聖徒たちは、ひと時とふた時と半時の間、彼の手にゆだねられる。

7:26 しかし、さばきが行なわれ、彼の主権は奪われて、彼は永久に絶やさされ、滅ぼされる。

7:27 国と、主権と、天下の国々の権威とは、いと高き方の聖徒である民に与えられる。その御国は永遠の国。すべての主権は彼らに仕え、服従する。』

7:28 ここでこの話は終わる。私、ダニエルは、ひどくおびえ、顔色が変わった。しかし、私はこのことを心に留めていた。」

27節は神の国について記されているものですが、このようにこの世の帝国と並んで書かれていると、その違いがはっきりします。その権威は「聖徒」すなわち神に従う人々に与えられるものです。またそれは永遠です。この点が、地上の権力と全く違うところです。

私たちの国籍は天にあります。天の御国がそのようなものであることを忘れないようにし、天の国民として生きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



3日 木曜

ダニエル

8:1 ベルシャツアル王の治世の第三年、初めに私に幻が現われて後、私、ダニエルにまた、一つの幻が現われた。

8:2 私は一つの幻を見たが、見てみると、私がエラム州にあるシュシャンの城にいた。なお幻を見てみると、私はウライ川のほとりにいた。

8:3 私が目を上げて見ると、なんと一頭の雄羊が川岸に立っていた。それには二本の角があって、この二本の角は長かったが、一つはほかの角よりも長かった。その長いほうは、あとに出て来たのであった。

8:4 私はその雄羊が、西や、北や、南の方へ突き進んでいるのを見た。どんな獣もそれに立ち向かうことができず、また、その手から救い出すことのできるものもいなかった。それは思いのままにふるまって、高ぶっていた。

8:5 私が注意して見ていると、見よ、一頭の雄やぎが、地には触れずに、全土を飛び回って、西からやって来た。その雄やぎには、目と目の間に、著しく目だつ一本の角があった。

8:6 この雄やぎは、川岸に立っているのを私が見たあの二本の角を持つ雄羊に向かって来て、勢い激しく、これに走り寄った。

8:7 見ていると、これは雄羊に近づき、怒り狂って、この雄羊を打ち殺し、その二本の角をへし折ったが、雄羊には、これに立ち向かう力がなかった。雄やぎは雄羊を地に打ち倒し、踏みじった。雄羊を雄やぎの手から救い出すものは、いなかった。

8:8 この雄やぎは、非常に高ぶったが、その強くなったときに、あの大きな角が折れた。



そしてその代わりに、天の四方に向かって、著しく目だつ四本の角が生え出た。

8:9 そのうちの一本の角から、また一本の小さな角が芽を出して、南と、東と、美しい国とに向かって、非常に大きくなっていった。

8:10 それは大きくなって、天の軍勢に達し、星の軍勢のうちの幾つかを地に落として、これを踏みにじり、

8:11 軍勢の長にまでのし上がった。それによって、常供のささげ物は取り上げられ、その聖所の基はくつがえされる。

8:12 軍勢は渡され、常供のささげ物に代えてそむきの罪がささげられた。その角は真理を地に投げ捨て、ほしいままにふるまって、それを成し遂げた。

8:13 私は、ひとりの聖なる者が語っているのを聞いた。すると、もうひとりの聖なる者が、その語っている者に言った。「常供のささげ物や、あの荒らす者のするそむきの罪、および、聖所と軍勢が踏みにじられるという幻は、いつまでのことだろう。」

8:14 すると彼は答えて言った。「二千三百の夕と朝が過ぎるまで。そのとき聖所はその権利を取り戻す。」

二本の角はメデヤとベルシャが合一したメド・ベルシャです。一方が長いのはベルシャが強大であったからです。

「一頭の雄やぎ」がこの「二本の角」であるメド・ベルシャを「へし折った」とありますが、これはアレキサンダー王のギリシャを表しています。彼は帝国が強大であったときに「角が折れた」ように、急死し四つの国に分かれます。

それが「四本の角」です。そのうちの一つ、アンティオカス・エピファネスはイスラエルを蹂躞

し、「聖所」である神殿を偶像や汚れたもので「踏みにじ」ったのです。

このように信仰は私たちの個人的な事柄でもありますが、また世界の歴史にも関わるものです。主の大きなみわざを知ることによって、主の権威と力に信頼しましょう。私たちの周囲の状況も主の権威の御手の中にあります。大きな信仰を持ちましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



4日 金曜

ダニエル



8:15 私、ダニエルは、この幻を見ていて、その意味を悟りたいと願っていた。ちょうどそのとき、人間のように見える者が私の前に立った。

8:16 私は、ウライ川の中ほどから、「ガブリエルよ。この人に、その幻を悟らせよ。」と呼びかけて言っている人の声を聞いた。

8:17 彼は私の立っている所に来た。彼が来たとき、私は恐れて、ひれ伏した。すると彼は私に言った。「悟れ。人の子よ。その幻は、終わりの時のことである。」

8:18 彼が私に語りかけたとき、私は意識を失って、地に倒れた。しかし、彼は私に手をかけて、その場に立ち上がらせ、

8:19 そして言った。「見よ。私は、終わりの憤りの時に起こることを、あなたに知らせる。それは、終わりの定めの時にかかわるからだ。

8:20 あなたが見た雄羊の持つあの二本の角は、メディアとペルシヤの王である。

8:21 毛深い雄やぎはギリシヤの王であって、その目と目の間にある大きな角は、その第一の王である。

8:22 その角が折れて、代わりに四本の角が生えたが、それは、その国から四つの国が起こることである。しかし、第一の王のような勢力はない。

8:23 彼らの治世の終わりに、彼らのそむきが窮まるとき、横柄で狡猾なひとりの王が立つ。

8:24 彼の力は強くなるが、彼自身の力によるのではない。彼は、あきれ果てるような破壊を行ない、事をなして成功し、有力者たちと聖徒の民を滅ぼす。

8:25 彼は悪巧みによって欺きをその手で成功

させ、心は高ぶり、不意に多くの人を滅ぼし、君の君に向かって立ち上がる。しかし、人手によらずに、彼は碎かれる。

8:26 先に告げられた夕と朝の幻、それは真実である。しかし、あなたはこの幻を秘めておけ。これはまだ、多くの日の後のことだから。」

8:27 私、ダニエルは、幾日かの間、病氣になったままだった。その後、起きて王の事務をとった。しかし、私はこの幻のことで、驚きすくんでいた。それを悟れなかったのである。

ダニエルは自分の私的な解釈によって幻を理解したのではなく、神の使いによって教えてもらいました。私たちも自分の考えよりも、神の考えを優先して理解しましょう。

ダニエルは「驚きすくんでいた。」とあります。それは、この幻の理解が大いなる神の厳かな意思を表しているからです。このように神の御心を知らせていただける人は、神の前におそれかしくむ人です。神を心からあがめて、必要なことを教えていただきましょう。

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）



5日 土曜

ダニエル



9:1 メディヤ族のアハシュエロスの子ダリヨスが、カルデア人の国の王となったその元年、

9:2 すなわち、その治世の第一年に、私、ダニエルは、預言者エレミヤにあった主のことばによって、エルサレムの荒廃が終るまでの年数が七十年であることを、文書によって悟った。

9:3 そこで私は、顔を神である主に向けて祈り、断食をし、荒布を着、灰をかぶって、願いを求めた。

9:4 私は、私の神、主に祈り、告白して言った。「ああ、私の主、大いなる恐るべき神。あなたを愛し、あなたの命令を守る者には、契約を守り、恵みを下さる方。

9:5 私たちは罪を犯し、不義をなし、悪を行ない、あなたにそむき、あなたの命令と定めとを離れました。

9:6 私たちはまた、あなたのしもべである預言者たちが御名によって、私たちの王たち、首長たち、先祖たち、および一般の人すべてに語ったことばに、聞き従いませんでした。

9:7 主よ。正義はあなたのものですが、不面目は私たちのもので、今日あるとおり、ユダの人々、エルサレムの住民のもの、また、あなたが追い散らされたあらゆる国々で、近く、あるいは遠くに在るすべてのイスラエル人のものです。これは、彼らがあなたに逆らった不信の罪のためです。

9:8 主よ。不面目は、あなたに罪を犯した私たちと私たちの王たち、首長たち、および先祖たちのものです。

9:9 あわれみと赦しとは、私たちの神、主の

ものです。これは私たちが神にそむいたからです。

9:10 私たちは、私たちの神、主の御声に聞き従わず、神がそのしもべである預言者たちによって私たちに下さった律法に従って歩みませんでした。

9:11 イスラエル人はみな、あなたの律法を犯して離れ去り、御声に聞き従いませんでした。そこで、神のしもべモーセの律法に書かれているのろいと誓いが、私たちの上にふりかかりました。私たちが神に罪を犯したからです。

9:12 神は、大きなわざわいを私たちにもたらすと、かつて私たちと、私たちをさばいたさばきつかさたちに対して告げられたみことばを、成就されたのです。エルサレムの上に下ったほどのわざわいは、今まで天下になかったことです。

9:13 このわざわいはすべて、モーセの律法に書かれているように、私たちの上に下りましたが、私たちは、不義から立ち返り、あなたの真理を悟れるよう、私たちの神、主に、お願いもしませんでした。

9:14 主はそのわざわいの見張りをしておられ、それを私たちの上に下しました。私たちの神、主のみわざは、すべて正しいのです。私たちが、御声に聞き従わなかったからです。

ダニエルは民を憂っていました。しかしそれは単に、民の側に立って神に不平を言うのではなく、また神の義だけに立って民を訴えるだけでもありませんでした。彼は「とりなし」をしたのです。人を愛し、さらに神の前に責任ある態度は、このとりなしです。

つまりダニエルは、「私たちは罪を犯し…」と

あるように、民の罪を自分の問題でもあるとして悔い改め、また神の恵みと憐れみを信じて、祈り続けたのです。

私たちも誰かのために問題意識をもって祈るときには、自分の問題でもあると気づいて祈りましょう。決して上から目線や、人事のように捕らえないようにしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



9:15 しかし今、私たちの神、主よ、あなたは、力強い御手をもって、あなたの民をエジプトの地から連れ出し、今日あるとおり、あなたの名をあげられました。私たちは罪を犯し、悪を行っていました。

9:16 主よ。あなたのすべての正義のみわざによって、どうか御怒りと憤りを、あなたの町エルサレム、あなたの聖なる山からおさめてください。私たちの罪と私たちの先祖たちの悪のために、エルサレムとあなたの民が、私たちを取り囲むすべての者のそしりとなっているからです。

9:17 私たちの神よ。今、あなたのしもべの祈りと願いとを聞き入れ、主ご自身のために、御顔の光を、あなたの荒れ果てた聖所に輝かせてください。

9:18 私の神よ。耳を傾けて聞いてください。目を開いて私たちの荒れすさんださまと、あなたの御名がつけられている町をご覧ください。私たちが御前に伏して願いをささげるのは、私たちの正しい行ないによるのではなく、あなたの大いなるあわれみによるのです。

9:19 主よ。聞いてください。主よ。お赦しください。主よ。心に留めて行なってください。私の神よ。あなたご自身のために遅らせないでください。あなたの町と民には、あなたの名がつけられているからです。」

9:20 私がまだ語り、祈り、自分の罪と自分の民イスラエルの罪を告白し、私の神の聖なる山のために、私の神、主の前に伏して願いをささげていたとき、

9:21 すなわち、私がまだ祈って語っていると、私が初めに幻の中で見たあの人、ガブリ

エルが、夕方のささげ物をささげるころ、すばやく飛んで来て、私に近づき、

9:22 私に告げて言った。「ダニエルよ。私は今、あなたに悟りを受けけるために出て来た。

9:23 あなたが願いの祈りを始めたとき、一つのみことばが述べられたので、私はそれを伝えに来た。あなたは、神に愛されている人だからだ。そのみことばを聞き分け、幻を悟れ。

9:24 あなたの民とあなたの聖なる都については、七十週が定められている。それは、そむきをやめさせ、罪を終わらせ、咎を贖い、永遠の義をもたらし、幻と預言とを確証し、至聖所に油をそそぐためである。

9:25 それゆえ、知れ。悟れ。引き揚げてエルサレムを再建せよ、との命令が出てから、油そそがれた者、君主の来るまでが七週。また六十二週の間、その苦しみの時代に再び広場とほりが建て直される。

9:26 その六十二週の後、油そそがれた者は断たれ、彼には何も残らない。やがて来たべき君主の民が町と聖所を破壊する。その終わりには洪水が起こり、その終わりまで戦いが続いて、荒廃が定められている。

9:27 彼は一週の間、多くの者と堅い契約を結び、半週の間、いけにえとささげ物とをやめさせる。荒らす忌むべき者が翼に現われる。ついに、定められた絶滅が、荒らす者の上にとふりかかる。」

ダニエルの動機は、民のためと神の栄光のためであって、自分の安心やこれまでの従いへの報いではありません。とりなすとき、自分のための動機が入っていたら、それはいびつなものになりま

す。主はその祈りを聞く前に、とりなしているつもりの人を扱わなくてはならないでしょう。とりなしとは、他の人のマイナス部分を主題にするのであるから、真にきよい信仰が必要なのです。

とりなし手が祈るとき、すなわちリーダーやスポンサーまたはクリスチャンがノンクリスチャンのために祈るとき、神の前に自分の罪を告白することが、神の主権をもたらすこととなります。それは不安なことではなく、むしろ安心なことです。主もそのようなダニエルに対して、「神に愛されている」と言うてくれました。

7週や62週とは1日を1年で計算するなら、その後のエルサレム帰還やイエスの来臨であることがわかります。主のことばは確かですから、主に信頼して謙遜に祈りましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあつて何を実践しますか？

